



〇えん

人と人とのつながりを意味することばをつれづれに思い浮かべてみました。「つながり」「絆」「縁」「出会い」「知り合い」……。語彙の少ない私はこのあたりで止まってしまいました。私と学生たちとの関係は「師弟関係」といえるのでしょうか。ではどんなつながりがあるといえるのでしょうか。「絆」ほどの深いもののでしょうか。「いやいや謙遜しなくても十分絆はありますよ。」とってくれる人もいるのでしょうか。少なくとも単なる「知り合い」ではないですね。いろいろと考えているとだんだん分からなくなってしまうました。

そこで「絆」の意味を調べてみたら驚いたことに、馬などの動物をつないでおく綱ということでした。そして、人と人とのつながり・支え合い・助け合いなどの意味が加わったのは比較的最近だということでした。ではなぜこのような内容のことを考え始めたのかということですが……。

私は今年も学生たちの授業を担当しています。私の話を聞き、一緒に学んでいる若者が目の前にいます。ふと「どのような縁でこの若者たちと私は出会い、こうして授業をしているのだろう。」と思うことがあるのです。今まで40年近く、入学で出会い卒業で分かれるということを繰り返してきました。今の在学生の中には小学生だったころ出会っていたはずの人もいます。また、保護者の方がかつての同僚だった人もいます。考えてみたら不思議な時の流れだと思えます。

学校外の他市町で私が教え子を見かけることもあります。年に2～3回くらいのそれほど多くない確率ですが、先日、光校の学生を光市外の街で見かけた数日後に周南市外の街で徳山校の学生を見かけました。珍しい出来事でした。二人とも私の「知り合い」で同じ年代の若者ですが、二人同士は特に「知り合い」というわけではないと思います。人と人との関係はおもしろく、これも不思議なものだなあと考えた次第です。

さて、授業で一緒に学ぶ学生たちは入学前はほぼみんな「知らない人」同士でした、何かの縁でクラスメートになっています。私は入学式では毎年「せっかく知り合いになったクラスメートですからお互いに切磋琢磨してお互いの学びを伸ばし合っていきましょう。」と話しています。友人でもあり、競争相手でもあるクラスメートとしてのよい関係を築いていってほしいと思います。卒業後は同窓会会員として助け合うこともできますね。

〇自校自賛

私の今の担当授業は「造形」です。さまざまな描画材などに触れ、造形表現の基礎を学び、その中で子どもの活動の支援方法を身につけることを目指しています。ときには作品を掲示して相互観賞を行います。そこではお互いの作品のよさを見つけ合って自分の力にしてもらおうと思っています。独学ではできない学びがそこにはあります。

